

事務事業評価シート

H27(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	08214-1	狹隘道路後退用地整備事業(建築指導費)	室名	建築開発室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	06:住環境の向上	務	款 土木費
施策の方向	02:安全・快適な住環境の整備	科	項 都市計画費	
戦略プロジェクト		目	目 都市計画総務費	

②目的・概要	対象	市民
	目的	建築基準法の規定に基づく道路の確認・狹あい道路の特定のため、指定道路図を整備することにより、建築時に狹隘道路等を解消し、良好な住環境の整備を行う。
	概要	指定道路図は、亀山市の都市計画区域内の道路のうち、建物を建てることのできる建築基準法上の道路が記載されており、建築確認申請を審査するときに必要不可欠なものとなっている。これらの道路は、毎年道路整備等で拡幅等が行われているため、指定道路図は定期的に更新を行うものである。

			27年度	28年度
①	名称	指定道路図データ更新及び背景作成業務委託	計画値	
	補足	指定道路図(H23~H26の4年間分)の整備	実績値	4
			単位	年
②	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	

年度計画				年度実績			
④事業の計画・実績					指定道路図の整備を行った。4年間分(H23~H26)		
	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ① 2,275
		国庫支出金		1,750	1,566	一般職員人件費 ② 2,275	平均給与額×③
		県支出金				所要人員 ③ 0.30	
		地方債				臨時職員人件費 ④	
		その他				受益者負担額 ⑤ 0	
		一般財源		1,750	1,566	受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥
		再掲	翌年度への繰越額				
			前年度からの繰越額				
		総人件費		①	2,275		
	総コスト		⑥	5,407			

⑤事業の評価	【事業の成果】	指定道路図が整備され、設計業者等及び市民への確かな情報を提供できた。また、ホームページにおいて、市民への公開を随時行う予定である。	総合判定
			A
			順調に進んだ
	【反省点・課題】	課題としては、道路の状況が毎年変化し、ホームページにおいて現状にあわせた道路情報の公開を行うため、随時見直しが必要である。	
	【改善の方向性】	随時、見直しが必要のため、毎年、整備を行う必要がある。	
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 建築開発室長 亀淵 輝男